

2025年度 第2四半期 決算説明会

2025年10月31日
株式会社村田製作所

2025年度 第2四半期 ハイライト・トピックス

代表取締役社長 中島規巨

2025年度 上期実績

売上収益 9,028億円

- ・ 前年同期比で+2.2%増収。スマートフォン向けを中心に高周波モジュールや樹脂多層基板が減収も、サーバーや代理店向けでコンデンサが増加した。為替影響除きで+5.5%増収。
- ・ 上半期の売上予想に対して増収。予想比で円安に推移したこと、各国の関税政策による景気後退懸念が低下し、最終セット台数の需要が上振れしたことが主要因。また、スマートフォン需要の前取込みに加え、国慶節での部品需要の前取込みにより売上は上期に偏重。

営業利益 1,651億円

- ・ 前年同期比で+4.4%増益。為替影響除きで+13.8%増益。操業度益が増益要因として寄与。
- ・ 上半期の利益予想に対して増益。予想比で生産高増加に伴う操業度益、円安効果、関税等のリスクを見越した固定費の抑制を推進したことが主要因。

2025年度 業績予想(10月)

売上収益 **17,400億円**

- 4月予想比で+6.1%、1,000億円の上方修正。通信およびコンピュータを始めとしてすべての用途において、部品需要増となった。為替影響除きで+2.7%増収。
- 予想レートからの円安進行（140円 ⇒ 145.52円）、関税による景気後退懸念の低下により需要セット台数が4月予想比で伸長したことが主な要因。

営業利益 **2,800億円**

- 4月予想比で+27.3%、600億円の上方修正。為替影響除きで+14.7%増益。
- 年間の利益予想に対して、生産高増加に伴う操業度益や円安効果などが増益要因として寄与。

業績予想の前提と当社の認識

- スマートフォン**：スマホは新モデルや中華圏IDHが好調であり、前年度比で総台数の増加を見込む。
- 自動車**：前年度比でxEV比率の上昇を見込む。
- PC**：買い替え需要により、ノートPCを中心に前年度比で台数の増加を見込む。
- サーバー**：AI Serverの高密度化による総台数の見直しにより4月予想比で構成比率は低下。
一方で、1台当たりの員数増加が見込まれ、当社部品需要は前年度比で増加を見込む。

	2024年度 実績	2025年度 前回予想(4月)	2025年度 今回予想(10月)	増減	
				前年度比	前回予想比
スマートフォン	11.7 億台	11.7 億台	12.1 億台	+4%	+3%
内 5G端末構成比率	66.7 %	69.2 %	66.1 %	▲1%	▲5%
自動車	8,950 万台	8,850 万台	9,033 万台	+1%	+2%
内 xEV構成比率	39.0 %	46.4 %	43.7 %	+12%	▲6%
PC	3.8 億台	3.9 億台	3.9 億台	+3%	+1%
サーバー全体に占める AIサーバー構成比率	12.5 %	17.0 %	13.1 %	1.1倍	▲0.8倍

(注) スマートフォンとPCは部品取込ベース、自動車は生産台数ベース、サーバーは出荷台数ベース

4月時点の業績予想前提

売上

- AIデータセンター向けの部品需要は引き続き堅調
- xEV比率の上昇およびAD/ADASの進展による1台当たりの所要数や高機能部品需要は増加
- ハイエンドスマートフォンの前倒し取込に対する反動減影響：通期で▲150億円程度
- パワーツール市場は実需見合い
- 製品価格の値下がりは継続
- 通期前提為替レート：140円/USD

生産

- 為替変動影響除きで生産高は増加する計画
- コンポーネントを中心に今後の需要増に備えた在庫積み増しを計画

費用

- 操業度の上昇に伴う生産関連費用の増加
- 人的資本投資やDX関連費用等経費支出の増加
- 次年度以降の当社製品採用・シェア拡大に向け、必要な投資を実行

10月時点の現状認識

- 各国の関税政策による景気後退懸念が低下し、最終セット台数が予想比で上振れ。
- AIデータセンター向けの部品需要は堅調維持
- 自動車向け半導体出荷停止問題の影響は調査中
- 製品価格の値下がりは進行するも、民生品の値下がりは予想比で緩やかに推移
- 下期以降の前提レートは145円/USD
- 2Qは季節性や前倒し需要対応により在庫減
- コンポーネントを中心に下期以降も高い操業度を継続し、在庫積み増しを計画
- 中長期視点での投資計画に大きな変更なし
- 計画的なコストコントロールは継続

2025年度 第2四半期 業績概要および事業概況

2025年4月～2025年9月
第2四半期連結累計期間

代表取締役副社長 南出雅範

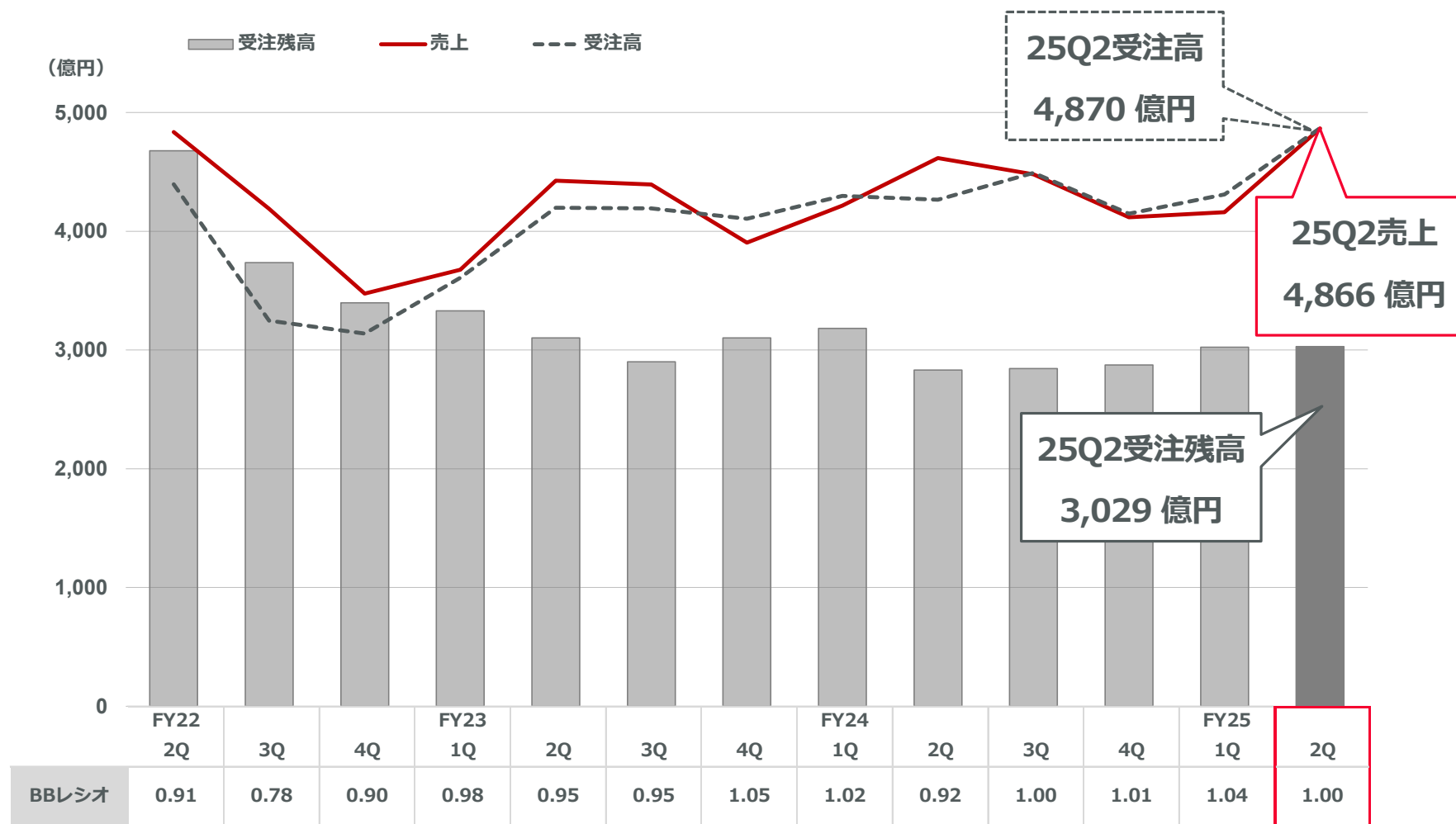
2025年度上期（前年同期比）

- 第2四半期の売上収益は4,866億円で、四半期としては過去最高の売上収益。
- 売上収益は、高周波モジュールや樹脂多層基板がスマートフォン向けで減少したが、コンデンサがサーバー向けで増加したことにより増収となった。
- 営業利益は、製品価格の値下がりや固定費の増加といった減益要因に対し、操業度の回復やコストダウンなどの増益要因により増益。

	2024年度		2025年度						前年同期比			直前四半期比			
	上期		第1四半期		第2四半期		上期		25年上期／24年上期		為替影響	為替影響除き		25Q2／25Q1	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上収益	8,835	100.0	4,162	100.0	4,866	100.0	9,028	100.0	+193	+2.2	▲296	+489	+5.5	+705	+16.9
営業利益	1,582	17.9	616	14.8	1,035	21.3	1,651	18.3	+70	+4.4	▲148	+218	+13.8	+419	+68.0
税引前利益	1,640	18.6	623	15.0	1,125	23.1	1,748	19.4	+108	+6.6				+501	+80.4
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,303	14.8	497	11.9	827	17.0	1,324	14.7	+21	+1.6				+330	+66.3
為替 (円/USD)	152.62		144.60		147.48		146.04		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円						

売上・受注・注残推移（四半期）

- 全社の受注高は直前四半期比で増加。円安の進行により外貨建て受注残高の評価額が増加したことに加え、通信向けを中心に需要が堅調に推移した。



(注) 受注高=売上+当四半期受注残高-前四半期受注残高 受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出。

※対米ドル為替レート 2024年9月末：142.82円、2025年3月末：149.53円、2025年9月末：148.89円

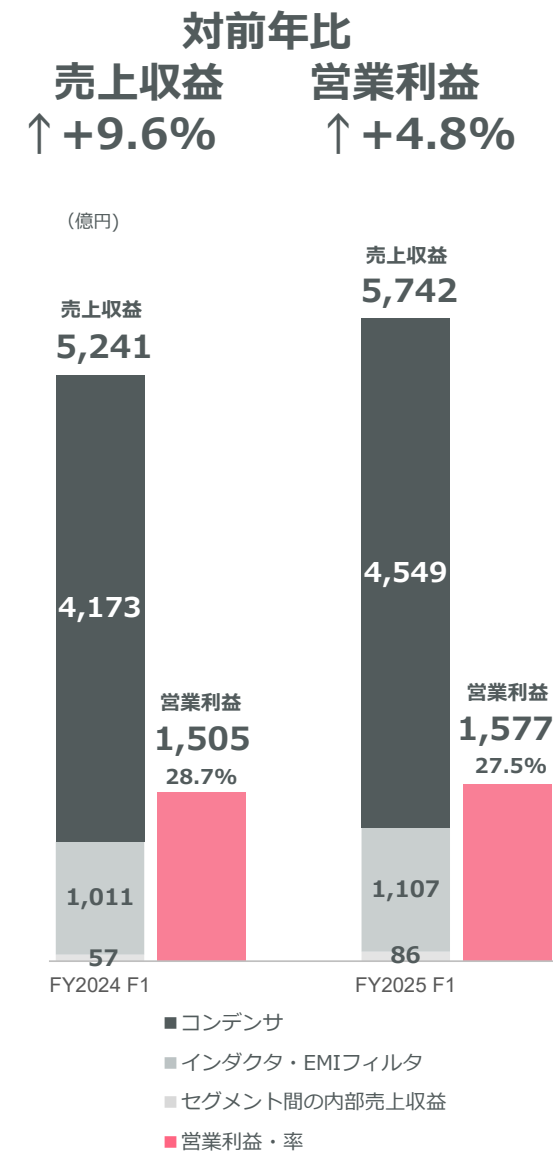
事業別セグメント売上収益

	2024年度 上期		2025年度 上期		2025年度 上期		前年同期比 25年上期／24年上期		直前四半期比 25Q2／25Q1	
	(億円)	(%)	第1四半期 (億円)	第2四半期 (億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	4,173	47.2	2,173	2,376	4,549	50.4	+376	+9.0	+202	+9.3
インダクタ・EMIフィルタ	1,011	11.4	525	583	1,107	12.3	+97	+9.6	+58	+11.0
高周波・通信	2,257	25.6	821	1,206	2,027	22.4	▲230	▲10.2	+385	+46.9
エナジー・パワー	837	9.5	358	391	749	8.3	▲88	▲10.5	+34	+9.5
機能デバイス	492	5.6	248	274	522	5.8	+30	+6.1	+26	+10.4
その他	65	0.7	37	37	74	0.8	+8	+12.9	▲0	▲1.1
売上収益計	8,835	100.0	4,162	4,866	9,028	100.0	+193	+2.2	+705	+16.9

セグメント別概況ーコンポーネント [2024年度上期→2025年度上期]

売上収益	コンデンサ (前年同期比+9.0%)	○積層セラミックコンデンサ (MLCC) サーバーや代理店向けで増加
	インダクタ・EMIフィルタ (前年同期比+9.6%)	○インダクタ モビリティやスマートフォン向けで増加 ○EMI除去フィルタ モビリティやサーバー向けで増加

営業利益	<p>円高の進行や製品価格の値下がりがあったが、生産高の増加に伴う操業度益により前年同期比で増益。</p> <p>※比較には2024年度に発生した一時収益の影響が含まれております。</p>
------	--



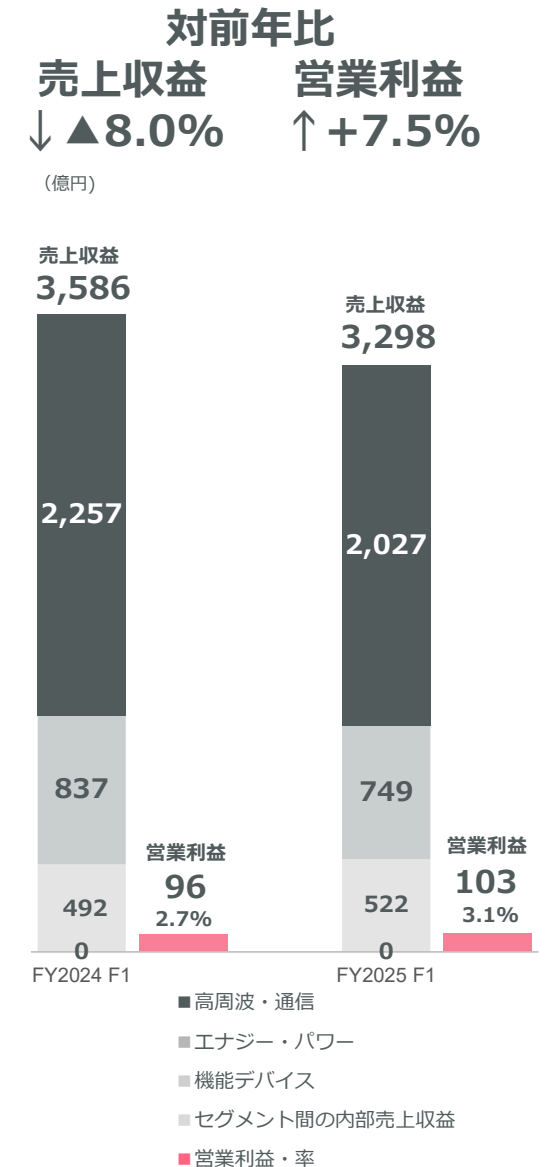
セグメント別概況ーデバイス・モジュール [2024年度上期→2025年度上期]

売上収益	高周波・通信 (前年同期比▲10.2%)	▲高周波モジュール スマートフォンやPC向けで減少
	エナジー・パワー (前年同期比▲10.5%)	▲樹脂多層基板・表面波フィルタ スマートフォン向けで減少
	機能デバイス (前年同期比+6.1%)	○センサ モビリティ向けで増加

営業利益

円高の進行や売上減少に伴う高周波・通信の収益性悪化はあったが、電池事業の収益性改善に加え一時費用減少もあり、前年同期比で増益。

※比較には2024年度に発生した一時費用の影響が含まれております。



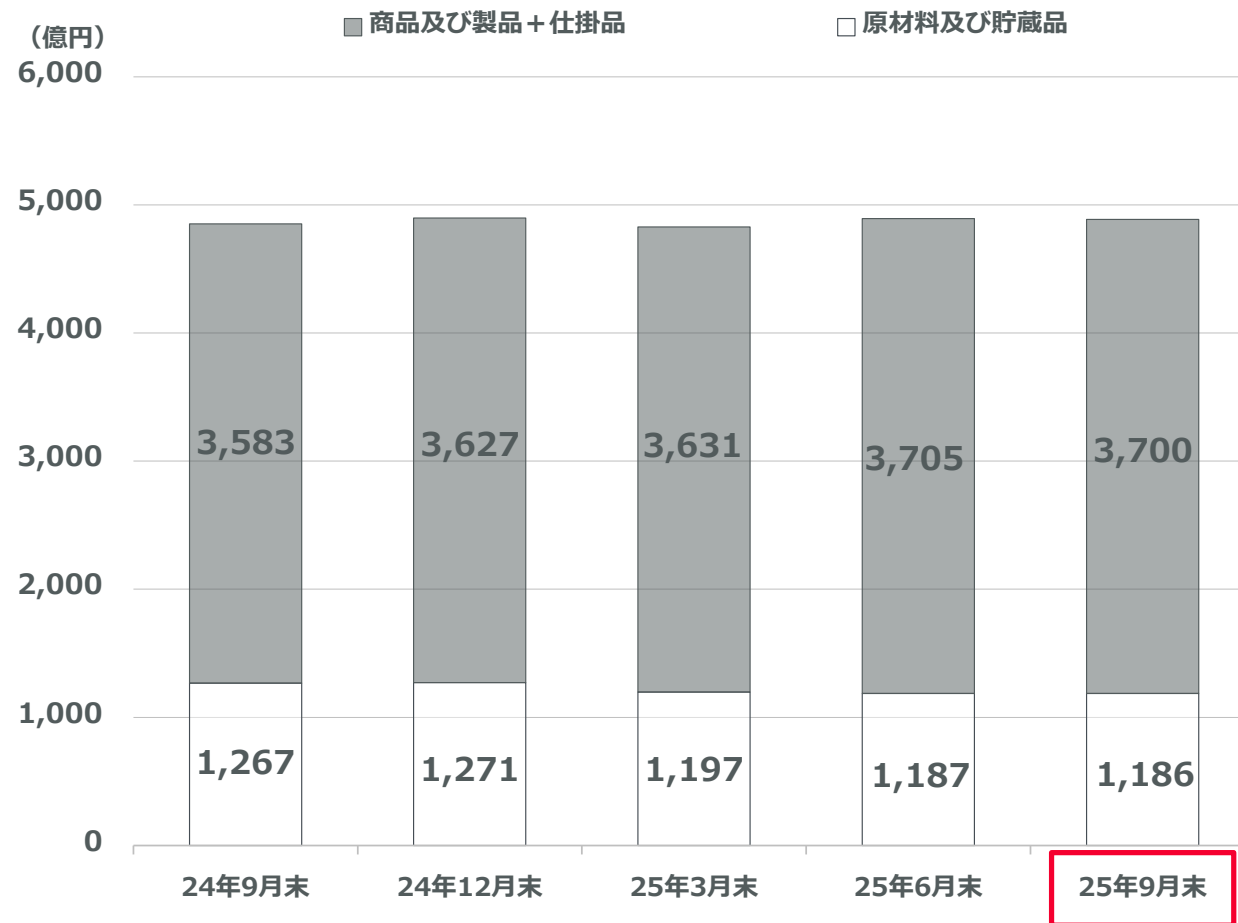
用途別売上収益

	2024年度		2025年度		2025年度		前年同期比		直前四半期比	
	上期	(%)	第1四半期	第2四半期	上期	(%)	25年上期／24年上期	(%)	25Q2／25Q1	(%)
	(億円)		(億円)	(億円)	(億円)		(億円)		(億円)	
通信	3,462	39.2	1,376	1,910	3,285	36.4	▲177	▲5.1	+534	+38.8
モビリティ	2,276	25.8	1,133	1,212	2,345	26.0	+70	+3.1	+78	+6.9
コンピュータ	1,215	13.8	700	759	1,459	16.2	+244	+20.1	+59	+8.5
家電	755	8.5	368	366	734	8.1	▲21	▲2.7	▲2	▲0.6
産業・その他	1,127	12.7	585	620	1,204	13.3	+77	+6.9	+35	+6.0
売上収益計	8,835	100.0	4,162	4,866	9,028	100.0	+193	+2.2	+705	+16.9

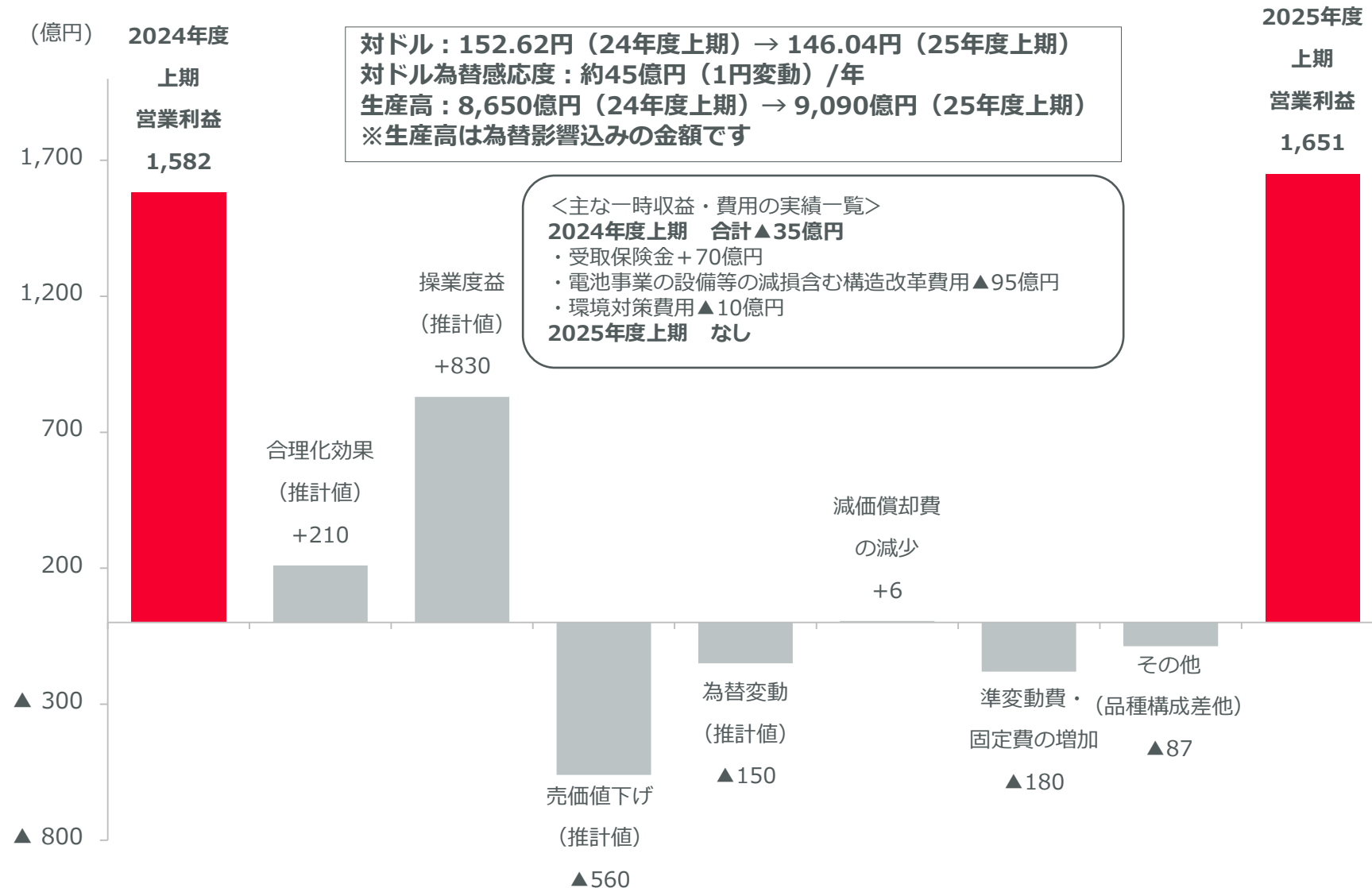
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

棚卸資産の状況

- 2025年9月末の棚卸資産は、前四半期末比で▲6億円減少、期末為替レートが円安に進行したことによる影響を除くと、同▲66億円程度の減少。
- スマートフォン需要の前取込みに加え、国慶節での前取込みに伴いコンポーネント、高周波・通信の在庫が減少した。



利益変動要因 [2024年度上期→2025年度上期]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

※その他(品種構成差他)には、2024年度上期に発生した一時費用の影響が含まれております。

キャッシュフロー

- 前年同期比で増益となったが、棚卸資産の減少額が下回ったことにより、営業活動によるキャッシュフローは前年同期比で減少した。
- 財務活動によるキャッシュフローには前年同期に続き、自己株式取得および配当金支払が含まれている。

	2024年度 上期 (億円)	2025年度 上期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	2,160	1,677	▲483
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 972	▲ 655	+318
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,557	▲ 1,386	+172
為替変動による影響	▲ 133	▲ 65	+69
現金及び現金同等物の残高	5,717	5,824	+107
フリーキャッシュフロー	1,188	1,023	▲165
固定資産の取得による支出	▲ 952	▲ 883	+69
減価償却費及び償却費	852	846	▲6

2025年度 業績予想

2025年4月～2026年3月

2025年度 業績予想

- 通期業績予想は、売上・利益ともに上方修正。
- 円安に加え、関税による景気後退懸念の低下により需要セット台数が4月予想比で伸長。また、スマートフォン需要の前取込みに加え、国慶節での前取込みがあり上期偏重の部品需要、下期に反動減を見込む。

	2025年度				2025年度				前回予想比				
	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想(4月) (億円) (%)		上期実績 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想(10月) (億円) (%)		10月予想/4月予想 (億円) (%)		為替影響 (億円)	為替影響除き (億円) (%)	
売上収益	8,300	8,100	16,400	100.0	9,028	8,372	17,400	100.0	+1,000	+6.1	+552	+448	+2.7
営業利益	1,170	1,030	2,200	13.4	1,651	1,149	2,800	16.1	+600	+27.3	+276	+324	+14.7
税引前利益	1,220	1,080	2,300	14.0	1,748	1,152	2,900	16.7	+600	+26.1			
親会社の所有者に 帰属する当期利益	940	830	1,770	10.8	1,324	876	2,200	12.6	+430	+24.3			
ROIC(税引前) (%)			7.8				9.7		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円				
為替 (円/USD)			140.00				145.52						

事業別セグメント売上予想

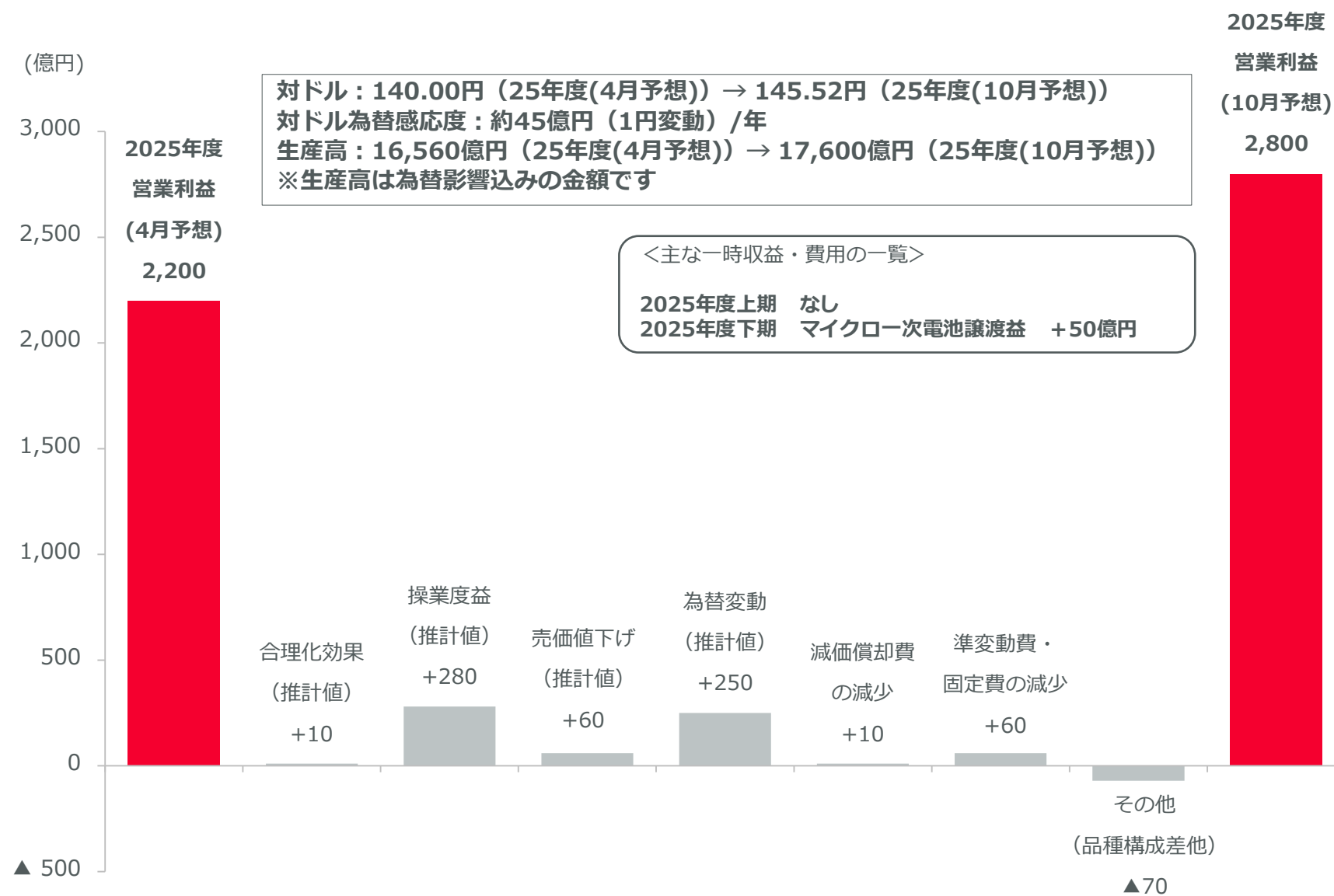
	2025年度 通期予想 (4月) (億円)			2025年度 通期予想 (10月) (億円)	前回予想比		上期実績比	
		上期実績 (億円)	下期予想 (億円)		10月予想/4月予想		下期予想 (10月)	
					(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	8,488	4,549	4,430	8,979	+ 491	+ 5.8	▲ 119	▲ 2.6
インダクタ・EMIフィルタ	2,047	1,107	1,033	2,141	+ 94	+ 4.6	▲ 74	▲ 6.7
コンポーネント	10,535	5,656	5,463	11,120	+ 585	+ 5.6	▲ 193	▲ 3.4
高周波・通信	3,427	2,027	1,600	3,627	+ 200	+ 5.8	▲ 426	▲ 21.0
エナジー・パワー	1,320	749	717	1,466	+ 145	+ 11.0	▲ 32	▲ 4.3
機能デバイス	964	522	506	1,028	+ 65	+ 6.7	▲ 16	▲ 3.0
デバイス・モジュール	5,711	3,298	2,823	6,121	+ 410	+ 7.2	▲ 474	▲ 14.4
その他	154	74	86	160	+ 6	+ 3.7	+ 12	+ 16.7
売上収益計	16,400	9,028	8,372	17,400	+ 1,000	+ 6.1	▲ 656	▲ 7.3

用途別売上予想

	2025年度 通期予想 (4月) (億円)	2025年度		2025年度 通期予想 (10月) (億円)	前回予想比		上期実績比	
		上期実績 (億円)	下期予想 (億円)		10月予想/4月予想		下期予想（10月）	
					(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	5,769	3,285	2,834	6,119	+ 350	+ 6.1	▲451	▲13.7
モビリティ	4,593	2,345	2,358	4,704	+ 111	+ 2.4	+ 13	+ 0.5
コンピュータ	2,624	1,459	1,396	2,855	+ 231	+ 8.8	▲62	▲4.3
家電	1,242	734	603	1,337	+ 96	+ 7.7	▲131	▲17.8
産業・その他	2,173	1,204	1,181	2,385	+ 212	+ 9.8	▲24	▲2.0
売上収益計	16,400	9,028	8,372	17,400	+ 1,000	+ 6.1	▲656	▲7.3

（注）当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2025年度通期予想（4月）→2025年度通期予想（10月）]



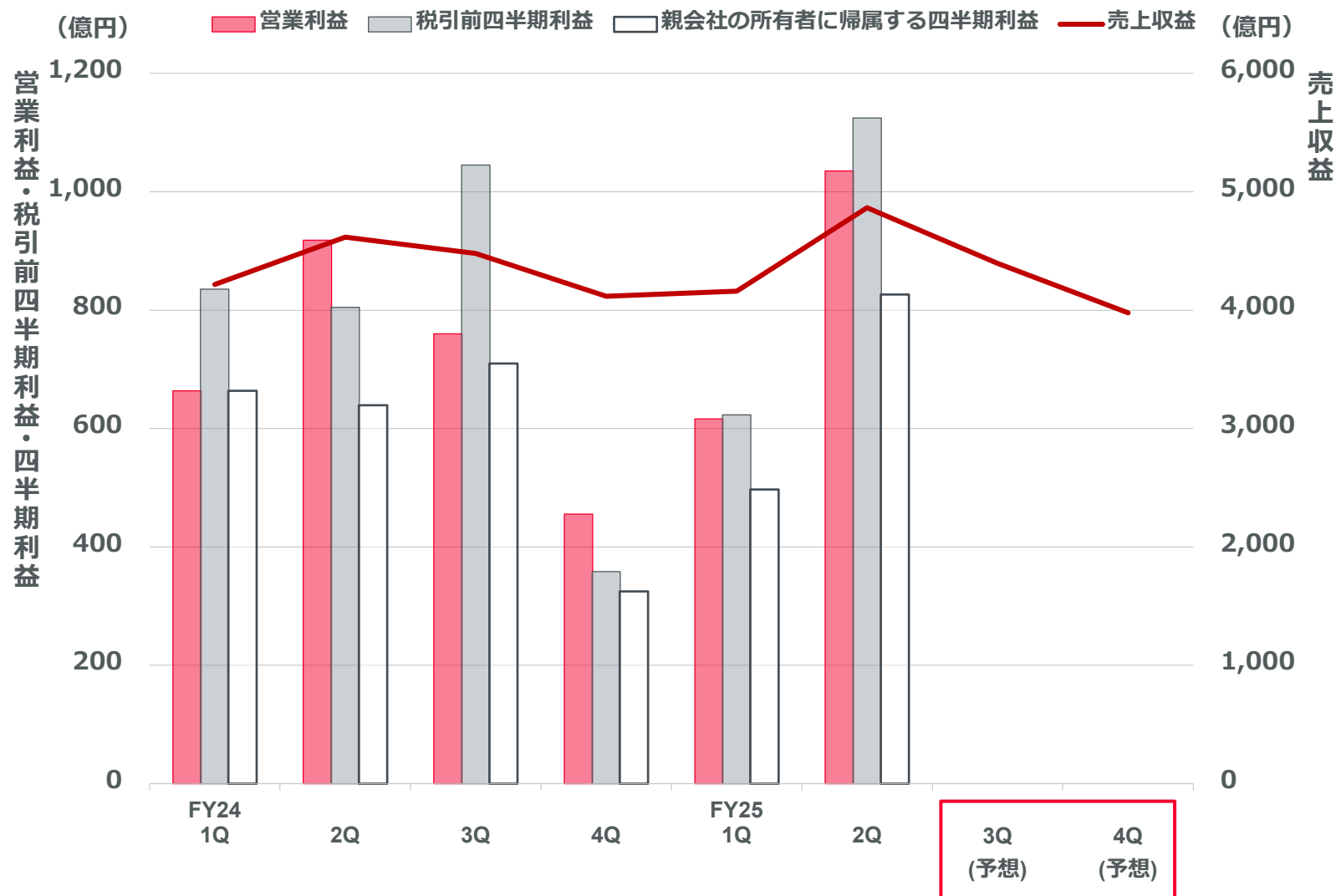
※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。



業績予想の前提

	2025年度 上期実績	2025年度 下期予想	2025年度 通期予想
減価償却費	846 億円	864 億円	1,710 億円
研究開発費	780 億円	750 億円	1,530 億円
設備投資額	754 億円	1,846 億円	2,600 億円
為替レート(USD)	146.04 円/USD	145.00 円/USD	145.52 円/USD

業績推移（四半期）



Murata Value report（統合報告書） 公開のお知らせ

公開日：2025年9月26日

<掲載URL>

[Murata value report（統合報告書）](#) | 村田製作所



2025年度 村田製作所 IR Day 開催のお知らせ

開催日時：2025年12月1日（月）13:30～

開催場所：当社 みなとみらいイノベーションセンター

開催形式：会場開催、オンラインでリアルタイム配信
後日、アーカイブ配信予定

【当日のご説明（予定）】

代表取締役社長 中島 規巨

『当社の将来技術および事業戦略についてご説明』

**常務執行役員 セラミックコンデンサ
事業本部 本部長 大森 長門**

『コンポーネントビジネスの競争優位性の源泉と、
社会価値と経済価値の好循環を生み出す事例のご紹介』

代表取締役副社長 南出 雅範

『人的資本・財務資本の取り組みと強化策についてのご説明』

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります、これらの業績見通しに過度に依存しないようにお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

補足

連結財政状態計算書

(単位：億円)

	2025年 3月期末	2025年 9月期末	増減
現金及び 現金同等物	6,251	5,824	▲428
営業債権	2,944	3,375	+431
棚卸資産	4,828	4,886	+58
その他の流動資産	955	878	▲78
流動資産合計	14,979	14,963	▲17
有形固定資産	11,837	11,895	+58
使用権資産	642	635	▲7
のれん	1,357	1,365	+8
その他の 非流動資産	1,466	1,546	+80
非流動資産合計	15,303	15,441	+138
資産合計	30,282	30,403	+122

	2025年 3月期末	2025年 9月期末	増減
社債及び借入金	24	25	+1
営業債務	696	755	+59
その他流動・ 非流動負債	3,762	3,662	▲100
負債合計	4,482	4,442	▲41
親会社の所有者に 帰属する持分合計	25,808	25,971	+163
非支配株主持分	▲8	▲9	▲1
資本合計	25,800	25,962	+162
負債及び資本合計	30,282	30,403	+122

(単位：円)

	2025年 3月期末	2025年 9月期末	差
期末日為替レート			
為替 (円/USD)	149.53	148.89	0.64 円高

事業別セグメント売上収益概況 [2024年度上期→2025年度上期]

コンデンサ (直前四半期比+9.0%)	○ 積層セラミックコンデンサ (MLCC) サーバー、代理店向けで増加
インダクタ・EMIフィルタ (直前四半期比+9.6%)	○ インダクタ モビリティ、スマートフォン向けで増加 ○ EMIフィルタ モビリティ、サーバー向けで増加
高周波・通信 (直前四半期比▲10.2%)	▲ 樹脂多層基板・高周波モジュール スマートフォン向けで減少
エナジー・パワー (直前四半期比▲10.5%)	▲ リチウムイオン二次電池 パワーツールやゲーム機向けで減少 ▲ 電源モジュール 産業機器向けや代理店向けで減少
機能デバイス (直前四半期比+6.1%)	○ センサ モビリティ向けで増加

事業別セグメント売上収益概況 [2025年度第1四半期→2025年度第2四半期]

コンデンサ (直前四半期比+ 9. 3%)	○ 積層セラミックコンデンサ (MLCC) スマートフォン、モビリティ、サーバー向けで増加
インダクタ・EMIフィルタ (直前四半期比+ 11. 0%)	○ インダクタ スマートフォン向けで増加 ○ EMIフィルタ モビリティ向けで増加
高周波・通信 (直前四半期比+ 46. 9%)	○ 樹脂多層基板・高周波モジュール スマートフォン向けで増加
エナジー・パワー (直前四半期比+ 9. 5%)	○ リチウムイオン二次電池 サーバー向けで増加 ○ 電源モジュール 代理店向けで増加
機能デバイス (直前四半期比+ 10. 4%)	○ センサ モビリティやスマートフォン向けで増加

用途別売上収益概況 [2024年度上期→2025年度上期]

通信 (直前四半期比▲ 5. 1%)	▲ スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少
モビリティ (直前四半期比+ 3. 1%)	○ 自動車向けでインダクタやセンサが増加
コンピュータ (直前四半期比+ 20. 1%)	○ サーバー向けでコンデンサが増加
家電 (直前四半期比▲ 2. 7%)	▲ パワーツールやゲーム機向けでリチウムイオン二次電池が減少
産業・その他 (直前四半期比+ 6. 9%)	○ 代理店向けでコンデンサやEMIフィルタが増加

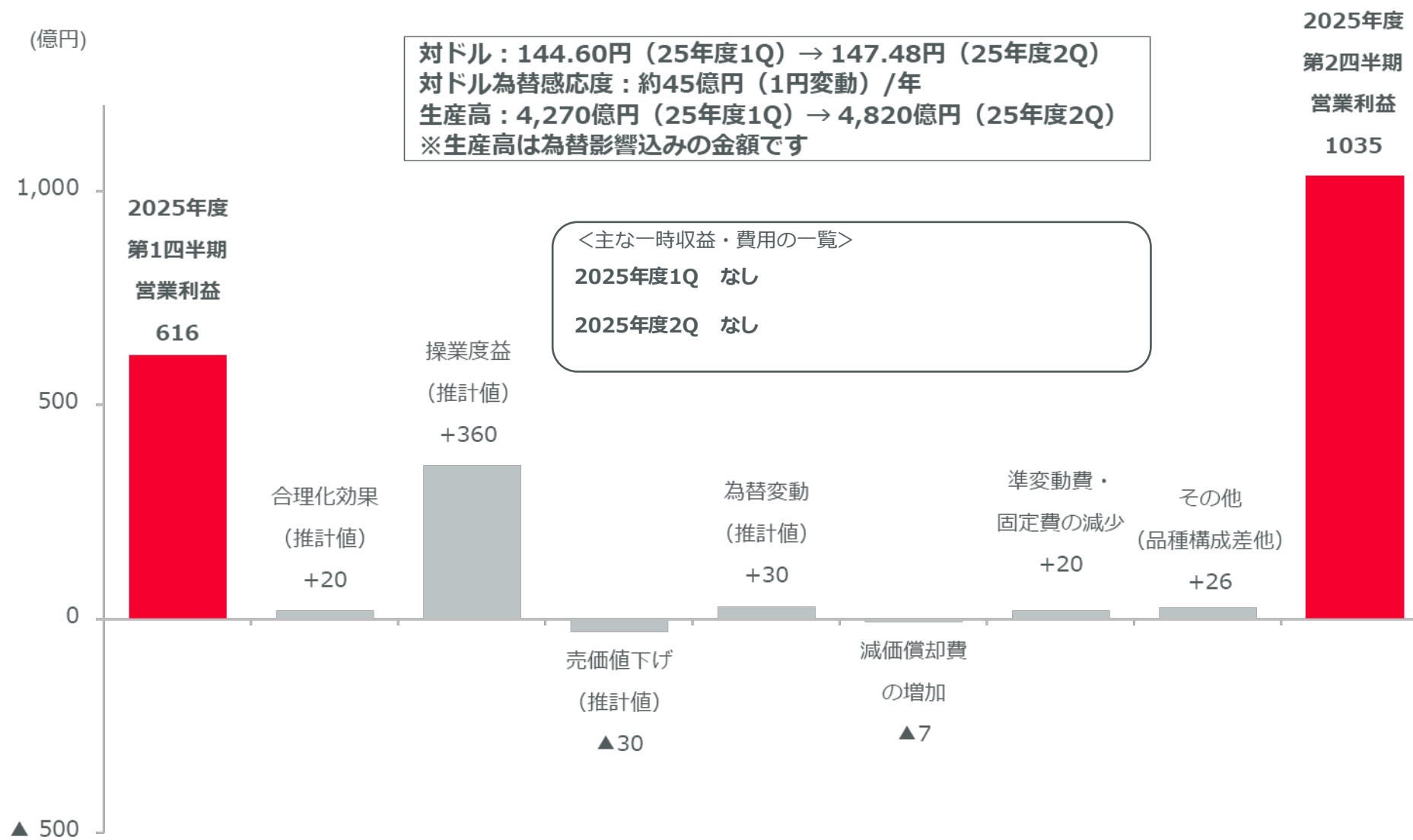
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

用途別売上収益概況 [2025年度第1四半期→2025年度第2四半期]

通信 (直前四半期比+38.8%)	○ スマートフォン向けで樹脂多層基板、コンデンサ、高周波モジュールが増加
モビリティ (直前四半期比+6.9%)	○ 自動車向けでコンデンサ、センサ、EMIフィルタが増加
コンピュータ (直前四半期比+8.5%)	○ サーバー向けでコンデンサやリチウムイオン二次電池が増加
家電 (直前四半期比▲0.6%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少
産業・その他 (直前四半期比+6.0%)	○ 代理店向けでコンデンサが増加

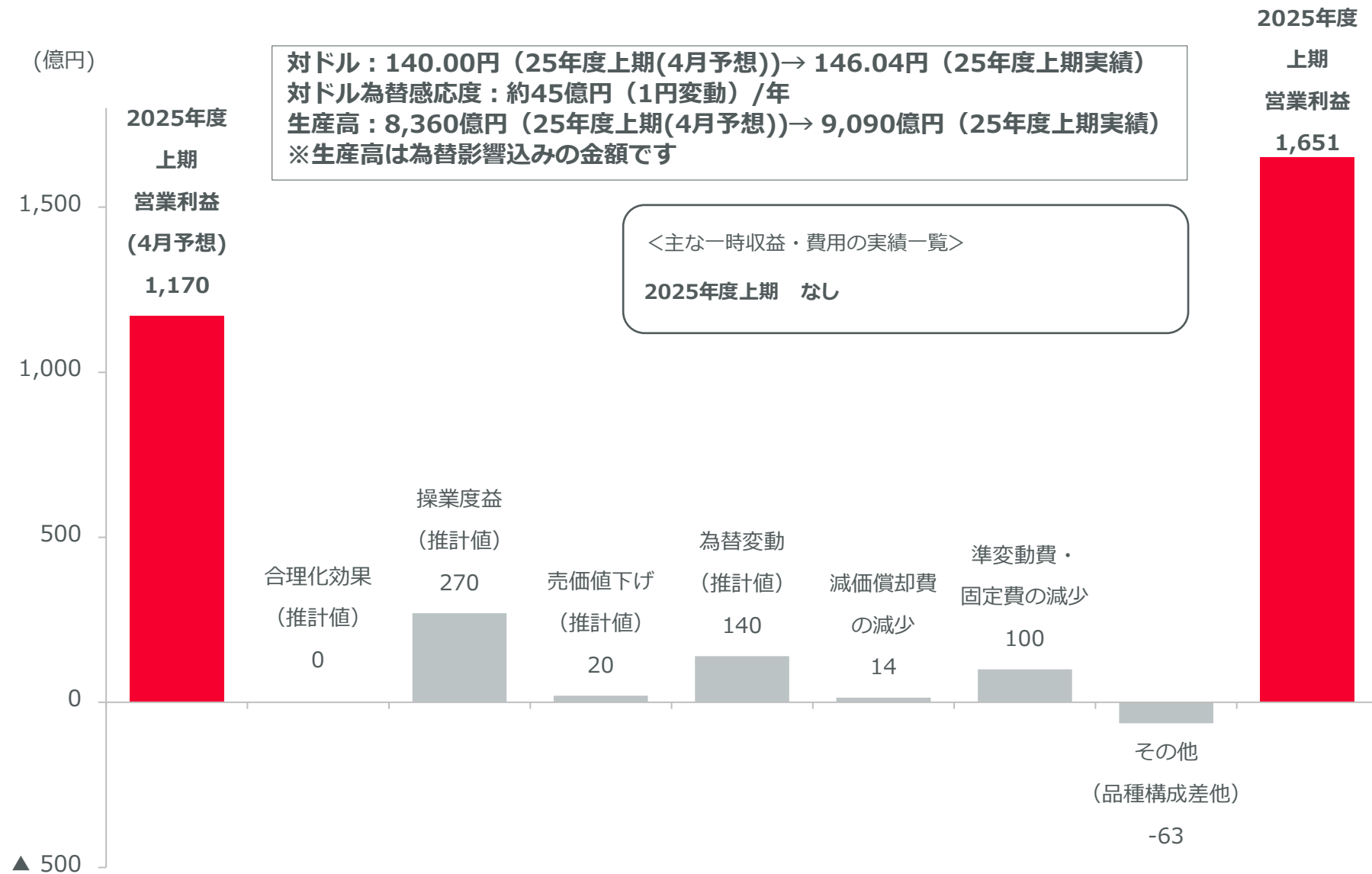
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2025年度第1四半期→2025年度第2四半期]



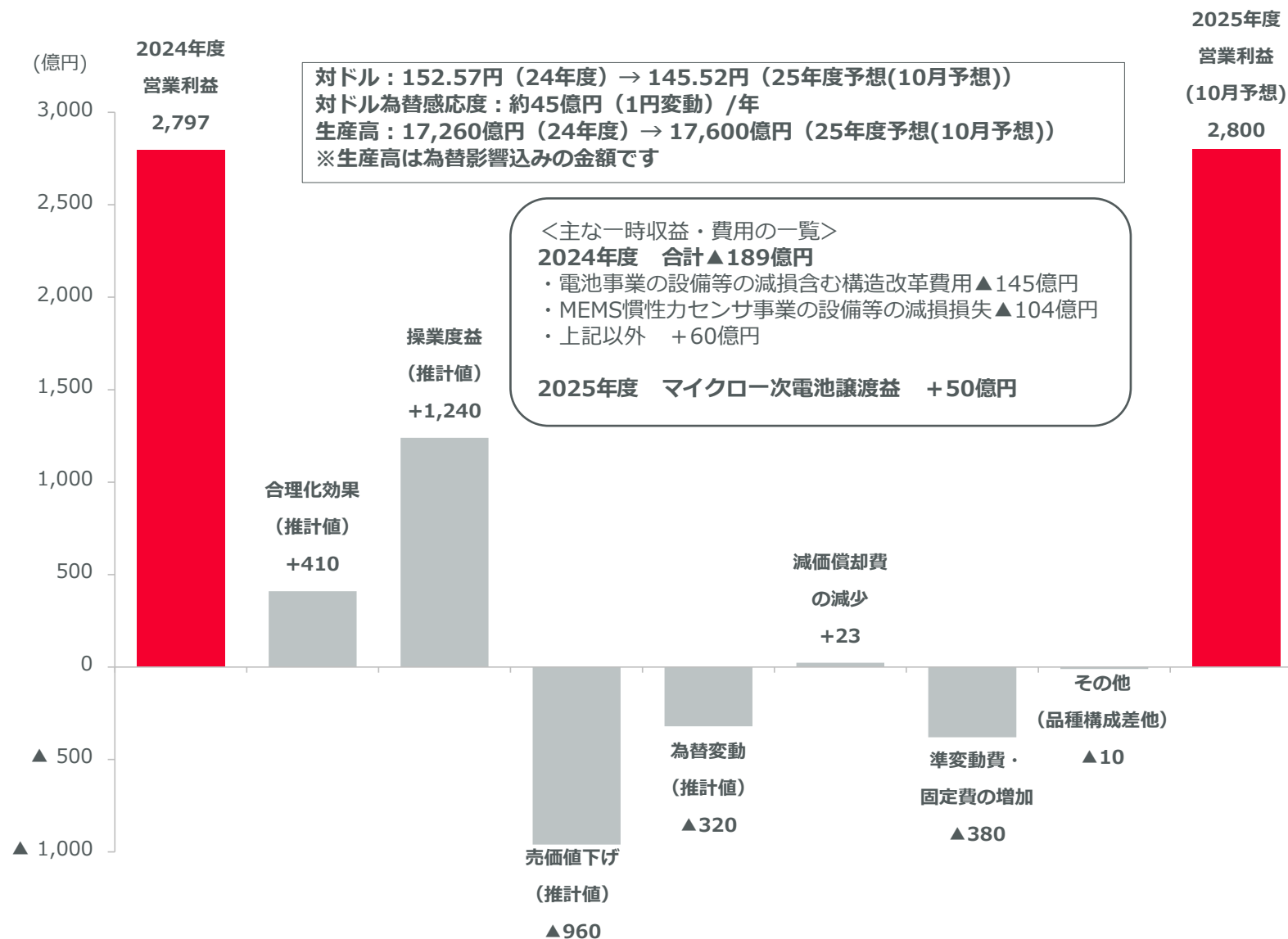
※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

利益変動要因 [2025年度上期予想（4月）→2025年度上期実績]



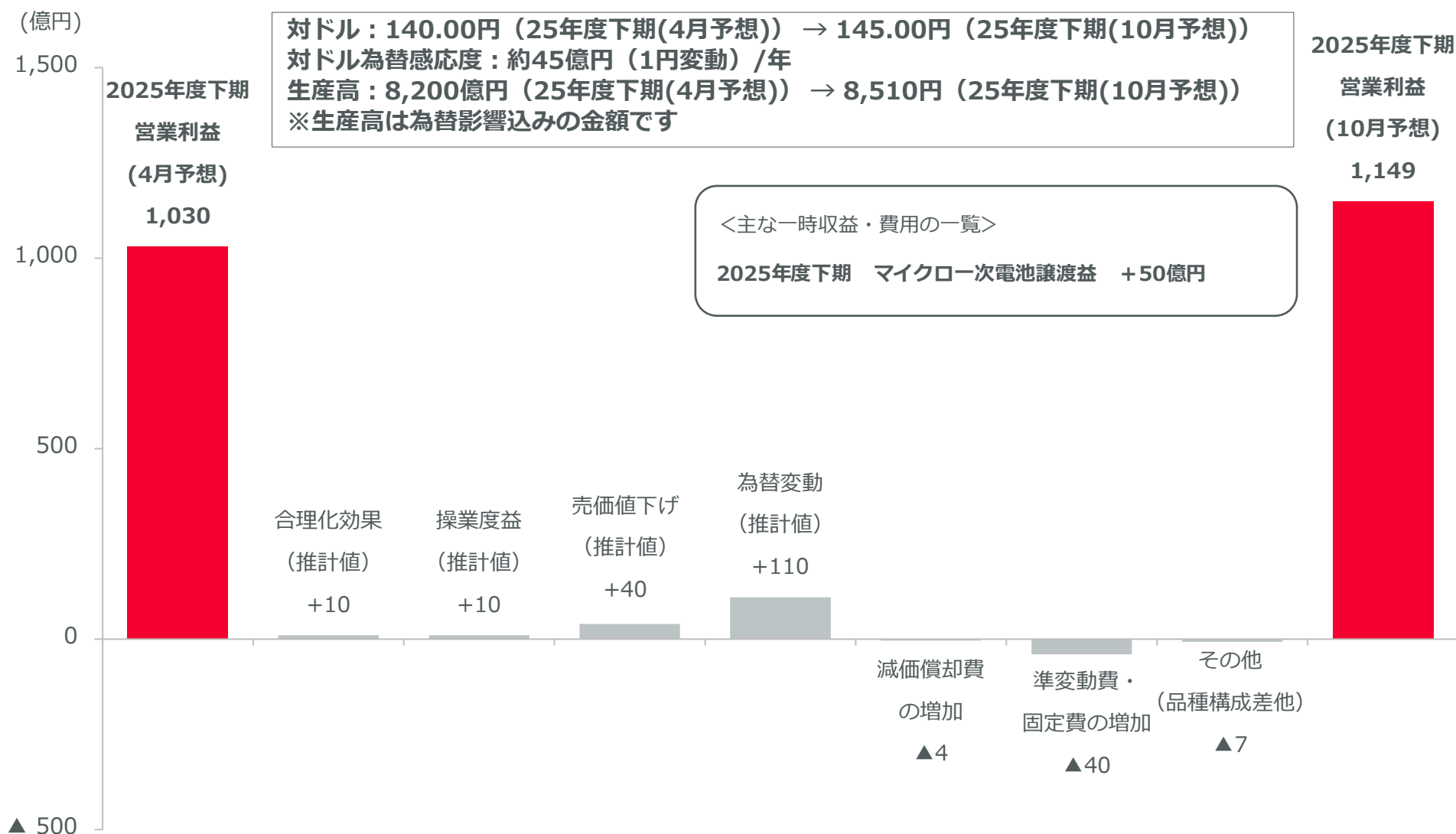
※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

利益変動要因 [2024年度通期実績→2025年度通期予想(10月)]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。
 ※その他(品種構成差他)には、2024年度に発生した一時費用の影響が含まれております。

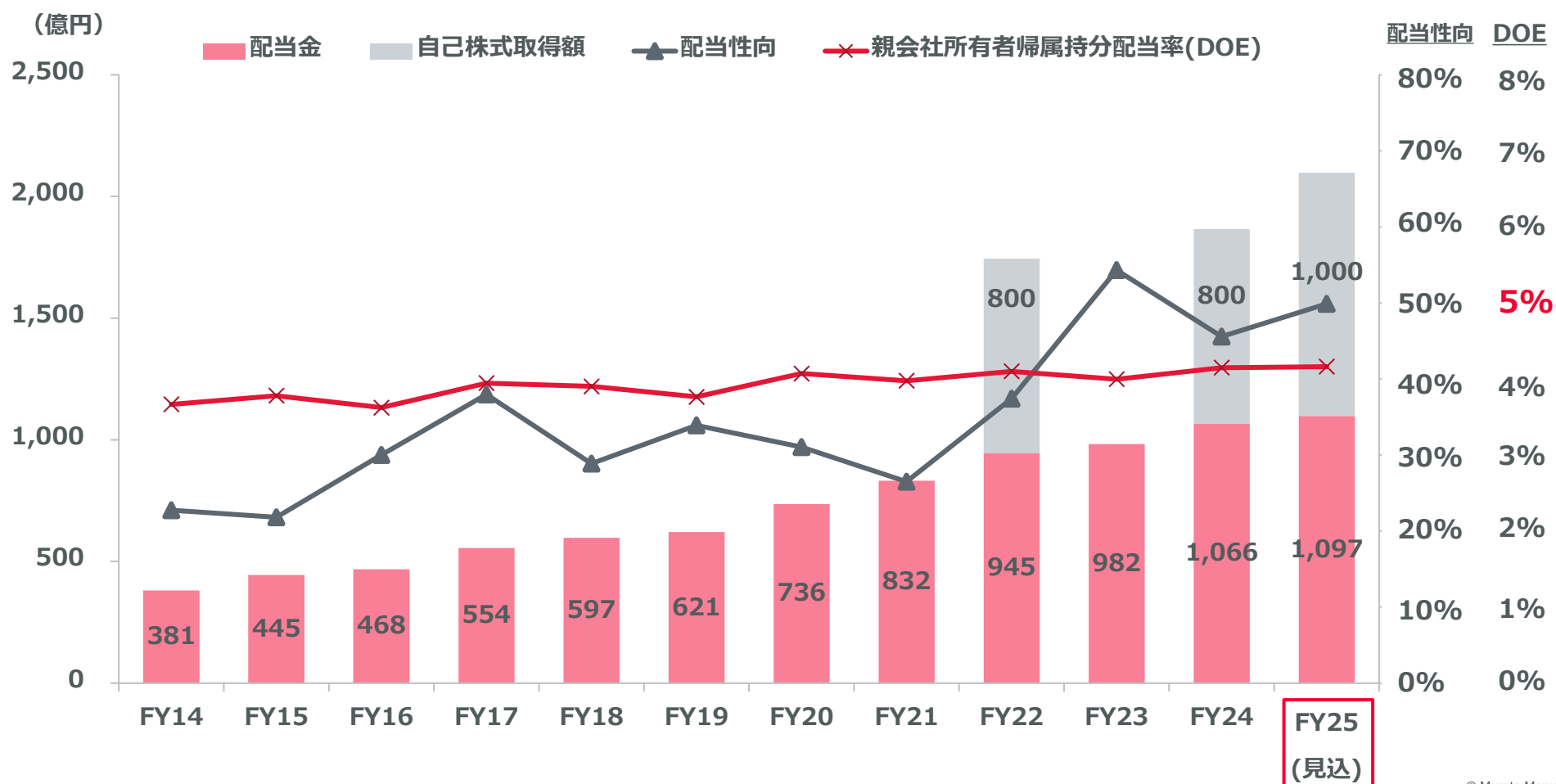
利益変動要因 [2025年度下期予想（4月）→2025年度下期予想（10月）]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

株主還元推移

- 2025年度は前年度比3円増配の1株当たり年間60円の配当金を予定。また、1,000億円を上限とする自己株式取得を実行中。2025年9月末時点で770億円分の自己株式を取得済み。
- 中期的にDOE 5%を目安に引き上げ、安定的な配当の実現を目指す。



四半期別財務データ_連結業績

(億円)

	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866
営業利益	664	918	760	455	616	1,035
税引前利益	836	805	1,045	358	623	1,125
親会社の所有者に 帰属する当期利益	664	640	710	325	497	827
設備投資	417	430	448	510	347	407
減価償却費	424	428	436	445	420	427
研究開発費	379	357	363	394	398	382
対ドルレート(円)	155.89	149.36	152.44	152.61	144.60	147.48

四半期別財務データ_売上収益

(億円)

		2024年度				2025年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
事業別セグメント売上収益	コンデンサ	2,033	2,140	2,131	2,014	2,173	2,376
	インダクタ・EMIフィルタ	483	528	515	487	525	583
	コンポーネント 計	2,516	2,668	2,646	2,502	2,698	2,958
	高周波・通信	993	1,263	1,209	971	821	1,206
	エナジー・パワー	426	411	347	374	358	391
	機能デバイス	252	240	245	241	248	274
	デバイス・モジュール 計	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871
	その他	29	36	34	32	37	37
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866
用途別売上収益	通信	1,549	1,913	1,798	1,481	1,376	1,910
	モビリティ	1,150	1,126	1,146	1,106	1,133	1,212
	コンピュータ	572	643	611	590	700	759
	家電	390	365	323	348	368	366
	産業・その他	557	571	601	593	585	620
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866

(注) 2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

四半期別財務データ_セグメント情報

(億円)

		2024年度				2025年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
コンポーネント	売上収益	2,543	2,698	2,674	2,525	2,740	3,002
	営業利益	737	768	688	559	712	865
	営業利益率	29.0%	28.5%	25.7%	22.1%	26.0%	28.8%
デバイス ・モジュール	売上収益	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871
	営業利益	▲61	157	84	▲80	▲80	183
	営業利益率	▲3.7%	8.2%	4.7%	▲5.1%	▲5.6%	9.8%
その他	売上収益	154	165	182	172	172	158
	営業利益	▲12	▲8	▲12	▲23	▲15	▲13
	営業利益率	▲7.5%	▲4.7%	▲6.7%	▲13.3%	▲8.9%	▲8.3%
消去	売上収益	▲152	▲159	▲176	▲164	▲177	▲165
連結	売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866
	営業利益	664	918	760	455	616	1,035
	営業利益率	15.7%	19.9%	17.0%	11.1%	14.8%	21.3%

- **2025年度（2026年3月期）の配当予定**
1株当たり年間60円
(中間配当30円／期末配当30円)
- **2024年度（2025年3月期）の配当**
1株当たり年間57円
(中間配当27円／期末配当30円)

※当株主還元は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

muRata

INNOVATOR IN ELECTRONICS